



# ネットワークナーズ通信 vol.11

令和4年6月発行

## 高齢者のまさかに備えて

平素は格別のご最真にあずかり、誠にありがとうございます。

6月は色とりどりの紫陽花に梅雨の訪れを感じる季節となりました。季節の変わり目には、体調にも十分に気を付けたいですね。そんな中、雨の中に咲く紫陽花は心のジメジメも吹き飛ばしてくれるような気がします！私たちスタッフも梅雨のジメジメに負けず皆様が安心して療養生活できる様、お手伝いをさせていただきます。

随時、スタッフを募集しております。在宅医療、訪問看護に興味のある方、一緒に働きたい方、推薦したい人をご存知の方、是非ご一報下さい。今後ともご声援、宜しくお願い申し上げます。

今回も事例紹介をさせていただきます！

今回は、ケアマネージャーさんの『直感』から諦めず相談して下さった症例をご紹介しますと思います。

ホームページも開設しております。『ネットワーク訪問ナーズステーション』で検索すると、一番上に出きますので、是非覗きにきてくださると嬉しいです  今後ともよろしくお願い申し上げます。(足立)



F様。88歳男性。現病歴：洞不全症候群、膀胱癌術後、尿管管癌術後、肺癌、肥満、慢性下肢浮腫。要介護2。奥様を急にを亡くされ独居。認知症なし。ADLは一部介助、通院以外は外出なし、外出時車いす使用。

12月にご自宅で奥様ご逝去された。それまでご夫婦で問題なく生活されていた。訪問介護は生活の見守り程度で入浴介助ぐらいしか必要と感じていなかった。しかし高齢者の独居であること、ケアマネージャーさんの直感から訪問看護を取り入れた方がいいとサービス開始。ご本人も病気はあるが一人での生活を続けたいという希望と、ご家族からのサポートしてほしいという要望も加わり開始に至った。ご本人は「困っていることはない」と言われたが高齢で状態急変しやすいため現在の症状を観察しながら在宅で穏やかに過ごせるように、ご本人のニーズに合わせた関りが重要と思われた。些細なことから、少しずつ介入し日常が維持できるようつとめた。下肢浮腫が著名でADLも低下していたためマッサージやストレッチをおこない転倒防止や、排便コントロールが不良で食事療法や薬物療法なども本人が負担に感じないように少しずつ、皮膚が脆弱でスキントラブルも起きやすかったので、皮膚の状態観察と軟膏塗布、肩の褥瘡の処置などご本人と確認しながら一緒に行った。見違えるような改善は乏しかったが、悪化はしないようにご本人が不必要と感じないように関わりを維持してきた。やっと少しずつ関係を築き上げてご本人が必要と感じてきた時に、自宅で意識消失しているという連絡が入った。どうやらトイレに行こうとしてそのまま意識消失しお亡くなりになられた。主治医に看取っていただき最期は関わりがあったすべてのサービスの人たちの中で、仲の良かった奥様のもとへ旅立たれた形となった。

サービスを開始され、半年もないくらいの期間ではあったがお一人で寂しく旅立たれるのではなく、F様を思う、F様の気に入った人たちの中で旅立たれました。高齢者にはまさかがあります。今回のようにケアマネージャーさんの直感で、諦めず、相談していただけたらこれからも本当は必要としている人にサービスが届くように努めてまいりたいと思います。

  神経難病、認知症、精神疾患、がんターミナル、看護師によるリハビリ等を特に得意としております。悩んでいるご利用者に医療相談や訪問看護お試しサービスを無料で行っております。お気軽にお問い合わせください！



24時間  
対応

ターミナルケア・お看取りも  
対応いたします

**訪問地域**  
世田谷区 **その他の地域もぜひご相談ください！**  
松原・代田・代沢・豪徳寺・梅ヶ丘・宮坂・経堂・赤堤  
杉並区  
永福・和泉・浜田山・下高井戸



〒156-0043  
東京都世田谷区松原2-41-15エテルノ203  
TEL:03-6379-0683